

事前評価調書

I 事業概要						
事業名	街路事業					
地区名	豊田市計画道路3・4・40豊田市停車場線					
事業箇所	豊田市喜多町					
事業のあらまし	<p>本路線は、豊田市の中心市街地に位置し、鉄道やバスといった公共交通機関の結節点であるとともに、豊田市駅と豊田市東部の住居系市街地を結ぶ重要な道路です。当該事業区間の周辺地域は、バリアフリー重点整備地区に位置付けられており、当該事業区間もバリアフリーの特定経路に位置付けられています。また、当該事業区間は無電柱化推進計画に位置付けられていることから、豊田市のまちづくりの観点からも重要な道路となっています。</p> <p>当該事業区間南側については、平成20年度に完了した市街地再開発事業において、道路拡幅が完了していますが、北側については未整備な状態が続いていることから、地元より早期整備が求められています。</p> <p>このため、当該事業区間の整備により、自転車、歩行者の交通環境改善及び都市防災機能の向上を図るものです。また、平成25年度より当該事業区間を含む市街地再開発事業が施行されていることから、一体となって整備することで、相乗的な事業効果の発現が期待されます。</p>					
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○中心市街地における自転車及び歩行者の交通環境改善 ○都市防災機能の向上 					
事業費	事業費		内訳			
	14.9億円		□工事費 0.45億円、□用補費14.45億円、□その他 0億円			
事業期間	採択予定年度	平成25年度	着工予定年度	平成25年度	完成予定年度	平成29年度
事業内容	現道拡幅 (延長0.2km、幅員23m、車線数2)					
II 評価						
①事業の必要性	1) 必要性	<p>当該事業区間は、豊田市の中心市街地に位置し、まちづくりの観点からも重要な道路でありながら、南側のみ道路拡幅が完了している状況のため、北側についても地元より早期整備が求められています。</p> <p>また、平成25年度より当該事業区間を含む市街地再開発事業が施行されていることから、一体となって整備することで、自転車、歩行者の交通環境改善及び都市防災機能の向上を図る必要があります。</p>				
	判定	A	<p>A： 現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。 B： 現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。</p> <p>【理由】 当該事業区間を含む市街地再開発事業が施行されており、一体となって整備することで、相乗的な効果の発現が期待できることから、事業の緊急性は高く、事業を実施することで大きな効果が期待できます。</p>			

②事業の実効性	1) 事業計画	<p style="text-align: center;">事業計画及び実績</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr style="background-color: #e1f5fe;"> <th colspan="2"></th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">工種 区分</td> <td>用地補償</td> <td style="text-align: center;">←</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">→</td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">←→</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費（億円）</td> <td colspan="5" style="text-align: center;">14.9億円</td> </tr> </tbody> </table>							H25	H26	H27	H28	H29	工種 区分	用地補償	←				→	工事				←→		事業費（億円）		14.9億円				
			H25	H26	H27	H28	H29																										
	工種 区分	用地補償	←				→																										
工事					←→																												
事業費（億円）		14.9億円																															
2) 地元の合意形成	沿線住民への同意を得ており、地元の合意形成はなされています。																																
判定	A	A： 事業計画の実効性が期待できる。 B： 事業計画の実効性が期待できない。																															
	【理由】 十分な事業執行環境が整っており、事業の実効性は高いものと考えられます。																																
III 対応方針																																	
A	事業実施が妥当である。： 上記①及び②の評価がすべてA判定であるもの。 事業実施は妥当でない。： 上記以外のもの。																																
IV 事後評価実施の有無と主な評価内容																																	
<input checked="" type="checkbox"/> 対象（事業完了後5年目） <input type="checkbox"/> 対象外 【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】 【主な評価内容】 ・ 自転車及び歩行者の沿道環境等に関する満足度（アンケート）																																	